

第24回日ロ沿岸市長会議・日ロ沿岸ビジネスフォーラム
共同コミュニケ

2013年8月21日、22日の2日間にわたり、日本国舞鶴市において、「日ロ沿岸市長会」「ロ日極東シベリア友好協会」「(社)ロシアNIS貿易会」「(公財)環日本海経済研究所」の共催により、「第24回日ロ沿岸市長会議・日ロ沿岸ビジネスフォーラム」が開催された。

日ロ沿岸市長会から、

函館市副市長	中林重雄
秋田市副市長	鎌田潔
男鹿市長	渡部幸男
由利本荘市副市長	石川裕
酒田市副市長	丸山至
新潟市長	篠田昭
長岡市政策監	金山宏行
三条市長	國定勇人
燕市商工観光部長	赤坂一夫
上越市理事	市村輝幸
佐渡市副市長	金子優
富山市副市長	老月邦夫
高岡市副市長	林時彦
射水市産業経済部長	河原隆幸
金沢市長	山野之義
七尾市副市長	南紀一
敦賀市副市長	塚本勝典
舞鶴市長	多々見良三

ロ日極東シベリア友好協会から、

ワニノ市長	オジャロフスキー N. S.
ヤクーツク市長	ニコラエフ A. S.
ビロビジャン市副市長	コフトウン M. F.
ウラジオストク市副市長	ズボワ N. V.
ナホトカ市副市長	ストロイエフ S. I.
ペトロパヴロフスク・カムチャツキー市副市長	ノヴィツカヤ E. Y.
ハバロフスク市国際局長	イワノワ T. N.

ユジノ・サハリンスク市副市長

コヴァリチュク A. V.

が参加した。

また、会議オブザーバーとして、ロシア側からコムソモリスク・ナ・アムール市第一副市長 グセワ L. D.、マガダン市副市長 マラシェフスキー A. V. が参加した。

日本とロシアの会議参加者は、このたびのアムール川流域の記録的な洪水による甚大な被害を憂慮し、被災者に対し見舞いの意を表した。

友好的、実務的協力の雰囲気で行われた会議・フォーラムでは、「両地域諸都市の経済分野における相互協力の強化について」、「両地域諸都市の特性を活かした国際観光の促進について」をテーマに、経済・観光関係者の参加を得て、具体的な議論を深めることができたことを会議参加者は高く評価した。

両者は、2013年4月に行われた日露首脳会談で採択された「日露パートナーシップの発展に関する共同声明」を歓迎し、日ロ沿岸交流がこれまでにない新たな発展段階に入ったとの認識で一致し、その理念が具現化されることに強い期待を表明した。

また、ロシアにおける極東・バイカル地域の発展戦略への期待を表明するとともに、日本の太平洋側に集中する様々な機能を日本海側に分散させることは日本の国土強靱化計画に資するものであり、ひいては両地域の発展に寄与するとの認識を共有し、さらなる連携に努力することを確認した。

両者は、日本とロシアとの間のエネルギー、農業、インフラ、運輸等の分野における互恵的なプロジェクトの推進の意義を指摘した。

エネルギーは日ロ経済協力の主要な分野の一つであることについて見解を共有し、2011年3月11日の東日本大震災後に日本ではエネルギー需要が増大し、一方ロシアはエネルギー供給先の確保をめざしているという状況を踏まえ、互恵的な条件でのロシアから日本へのエネルギー供給に関心を示した。

両者は、両地域間で農業分野・食文化での協力が大きな可能性を有していることを認め、さらなる交流の促進に努めることで合意した。

両者は、日ロ両国間の貿易高が2012年に過去最高を記録し、日本からロシアへの投資や企業進出が活発化していることを指摘した。さらなる経済関係深化に向けて、シベリア鉄道の競争力強化や効率性向上を前提とした日本海物流の一層の活性化に期待を表明した。

両者は、2012年8月のロシアのWTO加盟を歓迎し、ロシアの輸入関税率が低減することによる両地域間の貿易促進に向けて、地域レベルでも取り組みを進めることが重要であるとの認識で一致した。

両者は、2013年4月の日露首脳会談で両国民の短期渡航の査証相互撤廃の展望についての省庁間協議を始めるとのロシア連邦大統領の提案を歓迎した。一方、2012年1月に両国外相が署名した「日ロ査証簡素化協定」が未だに発効していないことを憂慮し、その早期発効を両国政府に要望することとした。

両者は、両地域間の観光の発展が経済活性化と人的交流、相互理解の促進に大きな役割を果たすことを認め、両地域間の観光促進をめざした取り組みとして初めて今年実施する日ロ沿岸市長会の複数の会員市を巡るコースによる「ファミトリップ」の試みを支持した。

両者は、真の相互理解に基づく両国の善隣的友好関係発展のため、地域間の協力をさらに発展させることが重要であることを強調した。

両者は、2003年の共同声明及び行動計画において解決すべきことが確認されたその問題を最終的に解決することにより平和条約を締結すると両国首脳の決意を歓迎した。

両者は、日ロ両国都市間及び両地域間の関係を発展させるため、本会議が有益かつ必要であることを認め、第25回会議を2015年にロシアで開催することに同意した。

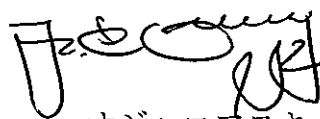
本コミュニケは2013年8月22日、それぞれ日本語とロシア語で2部署名され、等しい効力を持つ。

日ロ沿岸市長会代表幹事
新潟市長



篠田 昭

ロシア側代表団団長
ワニノ市長



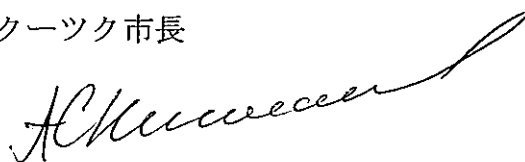
オジャロフスキー N. S.

函館市副市長



中林 重雄

ヤクーツク市長



ニコラエフ A. S.

秋田市副市長

鎌田 潔

鎌田 潔

ビロビジャン市副市長

コフトウン M. F.

男鹿市長

渡部 幸男

渡部 幸男

ウラジオストク市副市長

ズボワ N. V.

由利本荘市副市長

石川 裕

石川 裕

ナホトカ市副市長

ストロイェフ S. I.

酒田市副市長

丸山 至

丸山 至

ペトロパヴロフスク・カムチヤツキー市副市長

ノヴィツカヤ E. Y.

長岡市政策監

金山 宏行

金山 宏行

ハバロフスク市国際局長

イワノワ T. N.

三条市長

國定 勇人

國定 勇人

ユジノ・サハリンスク市副市長

コヴァリチュク A. V.

燕市商工観光部長

赤坂 一夫

赤坂 一夫

オブザーバー

コムソモリスク・ナ・アムーレ市第一副市長

グセワ L. D.

上越市理事

市村 輝幸

市村 輝幸

マガダン市副市長

マラシェフスキー A. V.

佐渡市副市長

金子 優
金子 優

富山市副市長

老月 邦夫
老月 邦夫

高岡市副市長

林 時彦
林 時彦

射水市産業經濟部長

河原 隆幸
河原 隆幸

金沢市長

山野 之義
山野 之義

七尾市副市長

南 紀一
南 紀一

敦賀市副市長

塚本 勝典
塚本 勝典

舞鶴市長

多々見 良三
多々見 良三